

(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事

掲載コンテンツ：リレーコラム

掲載時期	平成 27 年 2 月
テーマ	地域は人材の宝！明るく楽しいまちづくり
寄稿者	加古川市野口中地区まちづくり協議会

◆まちづくりは人づくりから

加古川市野口中地区では、区画整理事業記念会館「駅家（うまや）の里」を拠点に、県民交流広場事業を実施しています。

当地区は、国道 2 号線を挟む形に位置し、公共交通機関も近いことから新住民が大多数を占めるようになっており、新住民と旧住民の垣根を越えた絆づくりが大きな課題となっています。

その課題を解決するために、野口中地区まちづくり協議会では、新・旧住民に野口の良さを知ってもらうとともに、野口が大好きな人づくりを目指して、まちづくりリーダーを育てる取組を実施しています。

◆まちづくりリーダーを育成しよう！

野口中県民交流広場では、地域を担う人育てを重視し、“まちづくりリーダー養成講座”を実施しています。

講座では、会議のあり方から、地域団体の課題の掴み方、地域住民の巻き込み方（地域のことを“他人事”から“自分事”に意識を変える取組）まで、新たな視点を取り入れようと学んでいます。



まちづくりリーダー研修の様子

◆企画運営委員会を立ち上げよう！

野口中県民交流広場の特徴的な取組として、“企画運営委員会”の立ち上げがあります。野口中まちづくり協議会は、主に地域の各種団体の代表で構成しています。どの地域でも同じ状況だと思いますが、団体の役員を務める方は、別の団体でも役員を務められる方が多く、大変多忙です。

そこで、協議会構成団体からの次期リーダーの推薦や、やる気のある方に参加を呼びかけ、県民交流広場事業の検討や実施、運営を担う“企画運営委員会”を立ち上げました。

立ち上げには2年を要しましたが、“企画運営委員会”では広場のあり方を何度も話し合った結果、近年は新たな事業も生まれるなど、良い変化が生まれています。

◆新企画！子どもの好奇心を応援するチャレンジチャンスクラブ

“企画運営委員会”から生まれた新たな事業の一つが、子どもが企画から実施までを行う“チャレンジチャンスクラブ”事業です。

小学生を対象に、子どもたちが好奇心いっぱい、「あれもしたい！」「これも！」と話します。「どうしたらできるかな」「あれはどう？」意見は自由に交わされます。

大人のスタッフは否定しません。ウズウズしながら、グッと我慢して、見守ります。たまにだけ、子どもたちの意見が広がる（又はまとまる）ように、さりげなく、少しだけ助けます。

これまで、竹を使って流し素麺をする、凧をつくってあげる、煎餅に絵を描いて、お祭りで売る等に取り組みました。

子どもたちはこれらの取組みを楽しんでいるようです。当初は6人だった参加者も、今は子どもたちの口コミも広がって、20人以上の参加者があり、増え続けています。小学6年生の中には上級生の意識が見受けられるようになりました。

少しずつでよいので、思いを伝え受け止めるコミュニケーション力、知識や情報を使える知恵、仲間を思いやる心を身につけてくれることを期待しています。

“地域は人材の宝庫” 彼らが未来のまちづくりリーダーとなることを祈っています。



竹から流し素麺台、箸、お椀を作りました



クリスマス会用に鶏の唐揚げに挑戦！



手描きの煎餅販売は子どものアイデア